



目指す
児童像

し自然に親しむやさしい子
じ自分で学び考える子
き気力・体力を高める子
小将来の夢をめざす子

令和7年 5月 2日
平戸市立志々伎小学校
校長 山田 泰生
No. 63

【感動】挨拶運動での一場面

毎朝、挨拶運動に出かけています。早い児童で7時10分頃に登校してきます。

もちろん挨拶運動を行っていますが、それ以外にもいろいろと有意義な時間となっています。

最近では、補導員の栗山さんも加わり、主任児童委員の青山さんと毎日3人で挨拶運動を行い、児童の安全を見守っています。また、雑談の中で、様々な情報を知る大切な時間となっています。

1年生が、4月当初に比べ、自分から挨拶したり、大きい声で挨拶したりと、成長を感じ、嬉しく思います。

さて、先日の朝、いつものように挨拶運動を行っていました。その際、バス停近くに大きな桜の木があるのですが、その桜の木から出た枯れた花や枝のゴミを箒で掃いていました。すると、〇〇〇〇さんと〇〇〇〇さんが、

「ありがとうございます。」

と御礼を伝えてきました。(普通なら、「何しているんですか?」と聞くか何も言わないですよ。)感動しました。また、その言葉を選んだことに感心しました。

五月晴れの空が、とても青く高く感じる時間となりました。

運動会の全体練習開始!

「一生懸命頑張った間違いは良い。」

これは、体育主任の〇〇先生が全体練習の場で発した言葉です。間違いを責めるより、一步踏み出した、挑戦した、その勇気を称え、本気でやろうとした子どもを支えることは、教育にとって大切だと思います。「禁止」の指導より「挑戦」の指導が子どもたちの内面を成長させると 생각합니다。(ただし、「禁止」の指導が必要なきもあります。)

18日の運動会に向け、全体練習を始めました。30日は、入場行進、開会式、志々伎応援歌、閉会式の練習を行いました。

入場行進の練習では、5・6年生は格好よく、3・4年生は元気よく、1年生は一生懸命手を振る姿がとってもかわいかったです。

開閉会式の練習では、6年生に多くの出番がありました。紅白の団長、ラジオ体操、校歌指揮などなど、多くの出番がありました。6年生は、一回目の全体練習にもかかわらず、ほぼ完璧に行っていました。「やらされている感」を感じなく、自分で頑張ろうとする姿(内面からの湧き出る美しさ)を感じることができました。

「一人一人が輝き、出番のある学校」を目指して、上記の目指す児童像に迫っていきます。